

人 口	8,381
男	4,128
女	4,253
世帯数	1,720

2月1日現在

齋藤大馨

外国にわたらぬ多くのものを持つてはいるが、最近のようにネコもシャクシも駅弁大学を目ざし、勉強しているのか、遊んでいるのかわからない。これではきびしい職場に入ったところで、ものの用には立たない。世俗の一切を断ちきつて団体生活のチーム・ワークと不屈の忍耐力を養おうというのが、先にいった鎮成計画の目的でもある。人つくりが提唱されてからだいぶ久しい。当初の理念は経済の高度成長に備えて、科学技術者を養成する「経済的人間像」にあったようだ。それが文部省では、教育的立場から「倫理的人間像」の、厚生省では、家庭の経済的安定の方面から「新しい生活像」の人つくりに発展して来た。確かに「人つくり」の根幹は、家庭づくり」にあ

「人格の完成を目ざし、平な国家及び社会の形成者と真理と正義を愛し、個人のをたつとび、勤労と責任をじ自主精神に満ちた心身と健康な国民の育成を期してなければならない」と人くりの基本線を打ち出すの国家として当然なことであると同時に、ここで私のいいたいのは、将来青少年は何らかの人間として社会に立たねばならない。それに備えるための「職業人つくり」が肝要なのである。

人間づくりの正念場は、と職業と、社会生活の一体である。一人一業に打ち込む々は、道德の根本にも通じる。正確に働く意志こそ、の最大条件であるからだ。から「幸福は正しく働いて

ここに引例するのはどうかと
思うが、このような話がある

死刑に短期間ではあったが、正しい労働をやらせた。そのうちの一の人は夜間も働かせてくれたと頼んだ。「それは出来ない」と、断ると、「一夜や奪るのには向うへいってから」の一句を示したそうである。この清澄な働らく意欲は、罪人の彼を既に改造している。大目目菊五郎の辭世に「まだ足らぬ踊り踊りたいの世まで」や、百丈禪師という高德の言葉の「一日なさねば一日食わず」に、相通じるものである。

「職業人の喜びを持たせると」とが、経済人づくりのすべて」であるとの考えは正しいと思う。ただ必要の職場と、生活の保障がされなかったら何ものならない数年前のことだったが、新聞記述少年の代表五人が、日ごろの立派な働きぶりと、優秀な学業が認められ十日間程にわたって訪米し、見学や同じ仲間の少年たちと、交歓して元気で帰国したことがあつたが、これ等も一つこのよい例である。どこまでも家庭、社会、職業を一体とすべからず「人づくり」であるべきだ。

人間はいつも自分を高めたいといふやうな願ひを持っている。そこで人に神仏が懇望される。それを自

三月三十一日までです

分の行為の中に渴仰し、自分が自分の神仏をつくる営みに、励む心の養成こそ、当面の課題である。通材通所というものの、たとい通材であっても、忍苦修行を欠くと不通材になる。大切なのは毎日の仕事への熱意と努力である。不満があっても子供の前では、家業をそしめてはならない。妻が夫の職業に理解を持たなかったら、家庭不和はゆるまでもなく、道徳的退廃の原因にもなる。自分の職業をもつて堂々と人の道を歩み、社会

をつくってゆくところに、家庭づくり、正しい職業人づくりと一体になる「人づくり」の本命がある。世の大人なるもの心して青少年指導にあたねばならないと思う。

デモクラシーのすわりは、自由と責任にある。人間は誰でも自由を願っている。けれども自由には、必ず責任がついてまわる。責任のない自由は放縱で共同生活を破壊するということを感じ頭にいかねばならないと思う。

農地報償金の請求は
三月三十一日までです

農地被買収者等に対する給付金の支給に関する法律（昭和四十年六月三日法律第百二十一号）に基づき、終戦後の農地改革により国に農地を買収された者の請求により報償金が支給されることになり、該当者の報償金請求		事務をすゝめてまいりましたが、四十二年三月三十一日で、この請求期限が切れ、それ以後は給付金受給資格者でも請求は出来ませんので有資格者でいたまへる報償金の請求をしていない人は、至急中里村農業委員会にて所定	
人生往来 ◎産声 子の名 父の名 部落名		瀬切 勝美 輝 一 芋沢 藤巻ゆかり 一 政 鷹羽 桑原 幸子 信 一 倉俣 鈴木 喜久 龜 一 重地 山田 春子 正 八 清田山 吉桑 寛美 雄 宮中 中島 寿平 忠 治 堀之内	
瀧沢 知己 清 通り山 瀧沢 貞雄 貞 一 田中 樋口 真弓 常 市 朴木沢 小林由美子 弘 規 上山		◎高砂 新太郎 滝沢 正二(三)角 堀 新婦 吉桑 ヌキ(三)上山	

臨時村議会開く――
補正予算など審議

一般會計一千四百六十万円の減額

去る二月十日午前九時より役場議場において、今年初の村議会が招集された。これは、第一回臨時村議会として会期一日の日程で開かれ、昭和四十一年度一般会計補正予算、中串村職員給与と条例の一部改正などについて慎重に審議し、午後四時過ぎ散会した。 付議事件の主な内容は次のとおり。	おいて、村税百八十万円（村民税七十五万円、固定資産税百五万円）特例交付金四十二万九千円、地方交付税百五十万六千円追加、分担金九十二万二千円減額（農林水産業費百五万七千円減額、災害復旧費十三万六千円追加）、国庫支出金七百万二千円減額（災害復旧費補助金七百五十二万五千円減額ほか）、県負担金百五十九万円追加（国庫
か）、畜産振興費十二万六千円（導入牛牦子補給、追加、林業振興費三百九十二万七千円減額（山村振興林道工事請負費四百万円ほか）、水産業費五十八万四千円追加（往養組組合二十四万四千円、如來寺養蠶組合三十三万六千円）、消防費十四万七千円教育費百二十四万六千円（小学校教育三十九万六千円、中学校費三十七万六千円、社会教育費	か）、畜産振興費十二万六千円（導入牛牦子補給、追加、林業振興費三百九十二万七千円減額（山村振興林道工事請負費四百万円ほか）、水産業費五十八万四千円追加（往養組組合二十四万四千円、如來寺養蠶組合三十三万六千円）、消防費十四万七千円教育費百二十四万六千円（小学校教育三十九万六千円、中学校費三十七万六千円、社会教育費

補正予算関係

▽一般会計補正予算は、第七回目で、才才出総額一千四百六十八万二千円の減額補正であるが、主なるものは、ます才入に

調査費負担金）、県補助金六百七十三万五千円減額（農林水産業補助金三百八十八万五千円、災害復旧費補助金四百九十一万円減額）村債三百九十万円減額（農林水産業施設費復旧費）

十八万二千円ほか各追加、災害復旧費一千六百九万一千円減額（農業水産施設費災害復旧費六百三十九万四千円、公共土木施設費災害復旧費九百六十九万七千



【写真】は臨時評議会のようす】

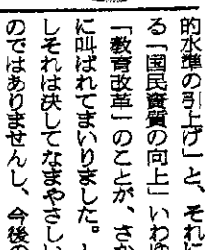
六十二万円、公共土木施設災害
復旧費二百二十八万円減額）
才出の面では、職員給与改訂
にともなう人件費の追加約百四
十一万円を含み、主なものはい
のとおり。

保健衛生費百一万三千円（雪
上車一台購入五十七万円ほか）
農業振興費四十五万九千円（農
機具センター補助二十万円ほ
か）

▽国民健康保険特別会計補正考
算は第三回目で、事業勘定三百
四十二万四千円、施設勘定三千
万九千円の追加、主なものは、
事業勘定で才出国庫負担金四百
九十四万円、国庫補助金四十万
四千円、才出は保険給付費二百
四十六万八千円の追加、應
勘定才入では、診療収入三千三
百九千円、才出は医療費三千万

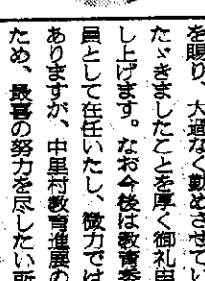
巴、公債費五十万円の追加（

教育長 滝沢謙治



私は前教育長村山軍英氏の後をうけて、去る一月一日付にて村教育長に就任いたしました。いささか遅ればせの感があつて恐縮ですが、本紙上を借りて一言御挨拶を申し上げます。さて戦後のいわゆる、六三三制は、今年で実施滿二十年になります。最近六三三制は、このへんで再検討が必要だといふ意見が現れております。「教育の質の大躍大進ので、さておきが、現在の本村の教育の在を考へる時に、御承知のよう山間地帯を多く抱えたへきあり、加えて冬季雪害期間一連の隘路もあつて、幾多の水性を内蔵しており教育の水準をお後進的な面をかなり残しております。この改善のため急に解決を図らなければならぬ幾多の重要な要件をかゝ

前教育長



私こと、このたび一身上の都合により、昭和四十一年十二月末をもちまして、中里村教育委員会より、昭和四十一年十二月御指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

抄

沢 謙 治

的水準の引上げ」と、それによる「國民實質の向上」にいわゆる「教育改革」のことが、さかんに叫ばれてまいりました。しかしそれは決してなまやかしいものではありませんし、今後の重大課題なので、さておきますが、現在の本村の教育の在り方を考える時に、御承知のように山間地帯を多く抱えたへき地であり、加えて冬季積雪期間の交通の隘路もあって、幾多の後進性を内蔵しており教育の水準はなお後進的な面をかなり残しております。この改善のために早急に解決を図らなければならぬ。い幾多の重要な案件をかゝ見て

います。この解決の急には、現の先生方や教育行政の衝にある人々は勿論の事、それを取まぐ関係の方々より不屈の意をもつて、ことにあたり相協して最善を尽すことが是非必要だと思います。要するに人間関係の理想にむかつて、それれ自らの職務に熱意と誇りをもって教育のことにあたり、日実践を積み重ねるときに本村育の発展が望まれることと思ます。不肖私は御承知の通り熱いのでありますので、そのの任の重大さを痛感しているのありますが、各位の御指導と鞭撻を賜わって、本村教育向のためには微力を尽したいと思ますのでよろしく御援助の程お願い申し上げます。簡単ではありますが、一言御挨拶といたします。

人生往来

瀧沢 知巳	父の名	部 落
瀧沢 貞雄	清	通り
樋口 真弓	貞 一	田
小林由美子	常 市	朴 木
	弘 規	上

時著 玉泉 土牛 おのえ 星 一声 春柳 一枝 海人 露丘	寒梅やガラス書院に陽のぬくみ 父の返待つ瞬間やスキー購ふ もの言へば落ちんばかりの冬の 星 痕壇に眺ふ候補よ雪しまき 三日晴水柱とかり落ちいたり 町の客もてなす在大焚火 道踏みてひたすらの汗に寒さ噴 雪に鞭り孫を相手のかるた取り 雪罪々と奈落の底に燃の音 熱の尻に寒の卵をかちと割る 大自然に負けしと雪の水道守る 杉綾のごと道踏みす雪に住み 雑詠四首	時著 玉泉 土牛 おのえ 星 一声 春柳 一枝 海人 露丘
の請求は 二日までです	の請求は 二日までです	の請求は 二日までです
産業課	産業課	産業課
の請求は 二日までです	の請求は 二日までです	の請求は 二日までです

一位 一般（高校生含む）
 各員段、無段別、個
 戦トーナメント。
 ▽剣道の部、中学生
 一般（高校生含む）
 各有段、無段別個人
 及び紅白試合
 ④表彰 各競技三位まで表彰
 参加全選手に参加賞
 ◇村民排球大会
 ①期日 三月二十六日（日曜）
 （午前九時より）
 ②会場 田沢中学校体育館
 ③種目 中学生、一般（高校
 含む）別、各男女別
 九人制トーナメント
 ④表彰 各三位まで表彰する
 なお、柔剣道大会、排球大
 は予定ですので、期日決定迄
 お知らせいたします。